

農学特別研究Ⅰ（2単位）

担当者氏名 根岸寛光・雨木若慶・岡島秀治・河合義隆・小池安比古・小島弘昭・篠原弘亮・杉山信男・
長島孝行・馬場 正・本橋 強・森田茂紀・山口正己

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

各指導教授の下および授業担当教員の指導の下で、農学専攻における研究上および教育上の理念等を学ぶとともに、研究者としての倫理を確立することにより、自立した研究者としての専門性と人間性を強化し、研究テーマの策定から始まり、研究計画の立案やその実施、さらにはこれまでに培った研究実績を再評価しつつ、今後の研究の円滑な遂行が可能となるようにする。個々においては各自の研究テーマの目的を明らかにし、その独自性や新規性を明確にするとともに、種々の問題解決手法を策定・構築しそれを実施できるようにすることを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

作物学 遺伝育種学 植物病理学 応用昆虫学
園芸学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	本科目の意義および授業進行方法のガイダンス	本授業では、各回ごとに各専門の指導教員の指示する内容についても、授業の都度指導教員から与えられる指摘事項や助言を参考として、その後の研究活動等の実施に際して改善等に努めること。
2	農学研究の理念	農学研究の意義やその目的	
3	研究倫理	研究実施に際して求められる倫理	
4	研究の背景	既往の研究成果の探索と評価	
5	学位論文テーマ策定(1)	受講者自身の研究実績の評価	
6	学位論文テーマ策定(2)	上記評価に基づく研究目標の選択	
7	学位論文テーマ策定(3)	研究目標候補についての新規性・独自性の評価	
7	学位論文テーマ策定(4)	上記評価に基づく研究テーマの策定	
8	学位論文の構成(1)	具体的な問題点の抽出と課題の設定	
9	学位論文の構成(2)	設定された課題の農学研究上の意義設定	
10	研究方法(1)	課題解決のための具体的手法の検討	
11	研究方法(2)	上記手法の習得	
12	研究方法(3)	習得された技法等の評価と伝達	
13	研究の実施計画(1)	研究計画の立案	
14	研究の実施計画(2)	上記計画の妥当性評価	
15	研究の実施計画(3)	研究実施に向けての調整	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
授業の際に各授業担当者からその都度指示

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
各専門分野の学会等から発行される専門誌等

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

受講態度を重視し、熱意なども加味して評価する

◆オフィスアワー

各授業担当者の授業終了後1時間

◆その他受講上の注意事項
